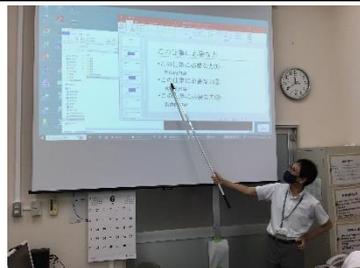
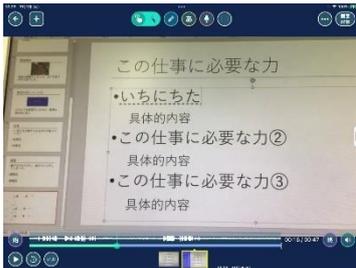
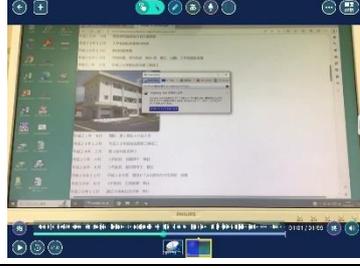


## 1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	岡山瀬戸高等支援学校	指導者名	久富大輔・長川優
実践場面 (教科名)	情報 (職業)	単元・題材名	実習報告会に向けて
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場実習の日誌や写真を効果的に活用し、実習内容を紹介するスライドを作成することができる。</li> <li>・ 個人情報や肖像権について概要を知り、適切な画像を選んだり、不要な部分を加工したりして、スライドに貼付することができる。</li> </ul>		
対象児童生徒の実態	<p style="text-align: center;">知的部門      高等部      2年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんどの生徒がパソコンでPowerPointを使用したことがある。</li> <li>・ ローマ字入力や画像の貼付が難しい生徒が多い。</li> <li>・ パソコンやiPadに興味があり、扱いに長けた生徒がいる。</li> </ul>		
活用の概要			
<p>(1) 個人情報や著作権、肖像権について知る。                  (2) 画像を貼付・加工する方法を知る。                  (3) <b>スライドを作成する (←本時)</b>                  (4) 実習内容を報告する。</p> <p>・ 本時は、生徒たちがそれぞれ3週間の個別実習に行った時の写真と実習日誌を元に、実習報告会のためのスライドを作成した。</p> <p>・ 最初に、教師が全体で操作方法の説明を行い、PowerPointの使い方を確認した。(写真1)</p> <p>・ 次に、生徒たちが前時に途中まで作っていたPowerPointのデータを開き、各自のペースで作成を再開した。(写真2、3)</p> <p>・ 操作方法や入力する内容、画像の貼付方法などは、それぞれ事前に教師が作成するスライドごとに解説動画を作成し、ロイロノートに配信しておいた。(写真4、5)</p> <p>・ 生徒たちは、自分たちが作成するスライドのページごとに動画を開き、手元で手順を見ながら動画と同じようにPowerPointを操作し、スライドを作成した。</p> <p>・ 動画を見ても分からないことは、挙手をして質問するよう促した。動画なしの場合よりも操作や入力に関する質問が減り、必要な個別対応にあたることができた。</p>		 <p style="text-align: center;">↑ 写真1</p>   <p style="text-align: center;">↑ 写真2 写真3 →</p>  <p style="text-align: center;">↑ 写真4</p>  <p style="text-align: center;">写真5 →</p>	
成果や活用のポイント ・ 課題、改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字や画像で作成した手順書を生徒に配信する手立てよりも、動画の方が生徒たちには分かりやすく、関心を引き出しているように感じた。</li> <li>・ 動画はそれぞれ約1分程度の長さで、生徒が作るスライド1枚ごとに、教師が説明しながらPCを操作する様子をiPadのカメラ機能で録画した。そのため、授業の資料をPowerPointなどで事前準備するより、準備に充てる時間を少なくすることができた。</li> </ul>		